

財團協調會福岡出張所

弟姉女子の貸銀は不況の時にヘラサレたままで家計を補ふ程のことも出来ず、灰坑、工場に働らいてゐた家族は失業して帰農する等農民の生活は年一年と窮乏化して借金に首も廻らぬほど四苦八苦の有様にある。之れを佐賀區裁判所の債務調停についてみるに、昭和八年十月から昭和九年八月までの調停件数は、三六一件で昨年の同期に比べて百四十五件の増加である。調停数がフェタことに對し佐賀區裁判所は一般に調停を利用するやうになつたからと言つてゐるがそれは尙ハズレの考へ方で、一般大衆の生活が窮乏化しオホルル者羣をツカムと言ふ影のことく調停にでもスガツて借金苦から、のがれやうとする生活がダンダン大きくなつてきた證據である。右の調停件数を職業別についてみやり

財團協調會福岡出張所

	金ヲ借りテアル數	貸シテイル數
農業者	二八〇人	八九人
小賣商人	五二人	一六人
製造販賣	二三人	一人
職工其他	三二人	ナシ
官公吏	一五人	一人
貸金業	ナシ	九六人
講會	ナシ	六〇人
無職	三〇人	一九人
不詳	三三人	六二人
其他	一〇九人	五六人

右の中農業者二八〇人は小作人が大部分を示め自作農等も含まつてゐるであろうが、如何に農民の生活が苦しく